

令和7年度の教育課程特例校の取組内容と自己評価及び学校関係者評価

<p>1 特別な教育課程の概要</p>	<p>本校は1962年より中高6カ年を一貫した教育に取り組み、以降、研究開発指定校等として、多数のカリキュラム開発を行ってきた。</p> <p>地学領域については、現行の学習指導要領でも「防災」に関する内容を充実するよう変更が行われたが、当校では高等学校で地学を選択する生徒は少なく、多くの生徒にとって中学校での学習が理科で防災を扱う最後の機会となる。そこで、中学校3年で中学校理科の地学的な内容を含む「防災」をテーマにした内容を通年で実施し、学習指導要領に示された内容のほかに、河川の氾濫や土砂災害、気象災害などのテーマを付加し、自然災害を科学的に捉え、科学的な根拠に基づいて行動するための防災・減災リテラシーを育成するカリキュラムを構築するのが、本教育課程を編成する目的である。</p>
<p>2 自己評価 (1) 成果</p>	<p>実施に伴って天気予報や地域のハザードマップなどを「自分ごと」と捉えて興味をもって見るようになった生徒が増加しており、防災・減災リテラシーの向上に一定の効果があつた。また、学習する対象が広範にわたる地学的な内容について、既習の知識や理解を活用して包括的・統合的に理解し、考察する力も育まれている。</p> <p>梅雨の前線や台風、広島型花崗岩の特徴など、地域や時事的なトピックに柔軟に対応する授業展開が可能になったことで、自然科学的な知識・理解だけでなく、自然災害が激甚化する中で、命を守るための基本的な知識や考え方を身につけさせるというねらいをある程度達成できた。また、これらのカリキュラムを実施するにあたって、物理分野、化学分野、生物分野をある程度履修している中学校3年に設定をしたことで、科学的な事象についての専門性を高めた状態で授業を受けることができ、科学的なものの見方・考え方や、科学の社会への貢献についてより深く学ぶことができている。</p> <p>また、このカリキュラムおよび授業のようすは、本校の研究大会で研究授業として授業公開しており、参加者からは好意的かつ興味深い実践と評価されている。</p> <p>なお、この授業をきっかけに気象予報士試験にチャレンジしている生徒もおり、より深い学びに対する意欲の喚起や、生徒たちによる自主的、自走的な内容の深化にもつながると期待できる。</p>
<p>(2) 課題</p>	<p>生徒たちが習得した「防災」に関する意識や知識を、家庭や地域へと還元する行動には至っていない。「防災」における「互助」「共助」のマインドをどのように育んでいくかが今後の課題と考えている。</p>
<p>(3) 評価※<sup>1</sup></p>	<p>A</p>

<p>3 学校関係者評価</p> <p>(1) 意見</p>	<p>○個人的な印象としては、理科の特例措置は申請理由に記述されているようなしっかりとした目的に沿ったカリキュラム編成であり、その実践による一定の成果があるようですので肯定的考えであります。</p> <p>○教育課程の編成が、学びの文脈と実生活とがリンクした形になっていることは、生徒にとって非常に有益であると感じました。</p> <p>○子ども自身も中3になって理科2分野を担当していただける先生のおかげをもって専門にも特化した地学の授業に満足度も高く、とても良いカリキュラムだと思いますし、中学校理科の最後を締めくくりにふさわしい分野であることでしょう。将来的に地学分野を志される生徒さんもきっと増えるのではないかと期待もしております。</p> <p>○理科の学習は、子どもによっては得意・不得意の分野が分かれる場合も多々あります。特に、地学で扱われる「地球」領域の学習は、「実体験や実感を伴う学びにすることがなかなか難しい。」という印象があります。ですが、この領域の学習は、世界の政治的背景や宗教観との結びつき、生命の起源に関わることも多くある内容であり、他教科とのつながりも踏まえて学んでほしい分野だと思います。</p> <p>そこを、「防災」という身近なテーマを柱に、より発展的に学習できること。その学習の基盤となる内容を履修した上で学ぶことは、生徒自身の探究的な学びの後押しにもなると考えます。</p> <p>○この度いただいた文面を娘と一緒に拝見して、娘は「防災」に重点を置いたカリキュラムなんだということを改めて感じた（合点してはありましたが）ようで、そこの目的部分が（生徒さんごとの個人差があったり我が子がそもそもよく聞いていなかったのかもしれないが）充分に分かった上での授業展開になっていればさらに良かったのでは、と思いました。確か娘が中2の時に「生物分野の授業をするときには中3用の教科書は借り物なんよ。」という話になって「なんでだろう？」と思ったことがあったのを思い出しました。その当時の娘に尋ねても「生物分野は中3の内容まで今やるらしいよ。」という返事だったので、その先にあるこの教育課程の「防災」というキーワードにはなかなか行き届かなかったのが現実でした。中3に入る前の段階での生徒へのガイダンスやレクチャーは大切なのかもしれません。総じて、そのポリシーに従っての特例的運用につきまして、保護者の一人としましても大歓迎の姿勢であります、よろしく願いいたします。</p> <p>○「受験のため」等の学習ではなく、「自分のため、他者のため、社会のため、生きるため」の学びを深めていくことができるという点において、生徒にとってもより良い学びのカリキュラムになっていると思います。</p>
<p>(2) 評価※<sup>2</sup></p>	<p>B</p>

※<sup>1</sup>自己評価      A 高いレベルで達成できた   B 達成できた   C 一部達成できなかった  
D ほとんど達成できなかった

※<sup>2</sup>学校関係者評価   A とても適切である   B 概ね適切である   C あまり適切でない   D 適切でない  
E 判定できない